

西国巡礼慈悲の道

西国第二十二番 補陀洛山

総持寺

顔施について

住職 中西隆英



ようこそ御参拝ください
ました。

かつてノーベル平和賞を
受賞したチベットのダラ
イ・ラマ法王は「宗教やイ
デオロギーなど、なくても
生きてゆけます。どんな知
恵を授けてくれるといつて
も、いらないと断れます。
しかし愛と思いやりはだれ
にとっても必要なもので
す。この単純明快な真実こ
そが、わたしの宗教であ
り、信念です。思いやりが

教義です。相手がどの誰
であろうと、他人を愛し、
他人の権利と尊厳に敬意を
はらうこと、それがわたし
たちに必要なものです。わ
たしたちのなすべきこと
は、これを日々のなかで実
践することだけです」と。
述べられています。

思いやりを仏教では無財
の七施（眼施、顔施、言施、
身施、心施、座施、舍施）
として教えています。第二
番の顔施（和顔悦色施）と

は微笑みを含んだ物柔らかな
顔つきの事、晴れ晴れと
した親しい表情の事です。

「笑う門には福来る」と申

しますが和顔は幸福なる家
庭の第一条件です。昔から

「父母を色養する」と申し

ますが、これは父母に対す

る孝養の内大切なのは顔色

を和らげてかしこづくこと

という意味であります。た

だ父母だけでなく全ての

人々に対して、そうするこ

となのです。他人をもてな

すのに、ただ御馳走を料理

するだけでなく微笑みのこ

もった打ち解けた顔で迎え

ることが大切です。和顔こ

そが最上の御馳走です。

いつもにこにこ、仏様さ

まのように貧富の別、地位

の上下にこだわらず、すべ

ての人に出るだけ親しみ
あつて現世の浄土を実現し
たいものです。



西国第二十二番

そうじじ
補陀洛山 総持寺

高野山真言宗

御本尊／千手観世音菩薩 開基／藤原山蔭

おしなべて 老いも若きも 総持寺の
お わか そうじじ
ほとけ ちか たの
 佛の誓い 頼まぬはなし



✽ 主な年中行事 ✽

- 1月1日～3日 修正会・牛王加持
 2月3日 節分会・星祭り
 4月15日～21日 本尊御開扉・西国御砂踏法要
 4月18日 山蔭流庖丁式
 7月土用丑 胡瓜加持法要
 8月初旬 ペットお盆供養
 8月15・16日 精霊送り
 11月中 七五三詣り
 春期・秋期 四国・坂東・秩父各霊場巡拝

❀ 観音風光 ❀

4月18日本尊様御開扉法要の日には、開山堂において山蔭流庖丁式が執り行われます。古式に則り行われる庖丁の妙技を是非ご覧ください。

ご詠歌の意味

おしなべて（すべての人々）老いも若きも（すなわち子供からお年寄りまで）
 総持寺の（総持寺本尊千手観音様の）仏の誓い（観音様は人々の悩み、苦しみを救いますよとの御誓願）
 たのまぬはなし（総ての人々が御誓願におすがりします）

〒567-0801 大阪府茨木市総持寺1丁目6番1号

TEL 072-622-3209／FAX 072-622-3240 <http://www.soujiji.or.jp>

納経時間 午前8時～午後5時

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。